

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月10日

宮崎市総合発達支援センター 児童発達支援センターすびか

職員数15名 回収数14名 割合93%

チェック項目		はい	いいえ	分からない	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	13	1			<ul style="list-style-type: none"> •子どもの動きや人数によって保育室を割り当てている。 •今年は5グループになったため、どのグループも適切な広さだったように思う。 •給食を食べる専用の部屋がないため、給食準備の時間がスペースの狭さを感じる。 •保育室は、子ども1人当たり2.47㎡以上の要件を満たしているが、狭い部屋では活動内容が限られることがある。活動内容により、部屋を変更して取り組んでいる。
	2 職員の配置数は適切であるか。	7	7			<ul style="list-style-type: none"> •休みの職員の代替まで考慮した職員数を確保できるともう少し余裕をもって活動できると思う。 •年度途中の退職職員がいたため、職員体制が不十分な時期があった。 •年度内に職員の入れ替わりが多いグループもあり、落ち着かない状況も続いている。グループ配置に関して、なるべく保育を回せる職員はどのグループも3人体制になるよう組めるとよい。そのためには職員増が必須。 •1対1対応児や、気持ちを崩した子への対応が十分にできないこともある。 •職員数は充足しているが、他部署に比べ、正職員の割合が低いことで体制が不十分だと感じる。 •人員配置基準を上回って配置されているが、現在での職員の働き方(年休、休憩取得、産休、育休)を考えると適切といえない部分がある。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	12	2			<ul style="list-style-type: none"> •障がい児に適した環境でない部分がある(静養室、トイレ、床) •分かりやすくするのであれば、絵や写真を使うとより伝わりやすいと思う。 •各グループごとに、活動内容や今日の給食など分かりやすい工夫をしている。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	14	0			
--	---	--	----	---	--	--	--

	チェック項目				無回答	
		はい	いいえ			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当業務については年度初めに目標設定や計画を立てて遂行している。 ・業務改善に向けた聞き取り実施。今後GL中心に検討していく予定。 ・業務改善において、課題はたくさんあるが、少しずつ進めている段階。職員意識は課題。 ・業務に割り当てられた職員間で、計画、実行、振り返りはその都度できていると思う。
	6 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか。	13		1		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度11月に実施。保護者等の意向を真摯に受け止め、業務改善に活かせるようにしている。
	7 事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	10	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページには公開していない。 ・自己評価を行い改善の内容を事業所内で供覧できるようにしている。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	7	7			<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価は取り入れていない。どのような形で取り入れるべきかは協議が必要。 ・第三者による外部評価は行っていないが、研修等で来られた方々からの意見を参考に改善につなげられるようにしている。
	9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	13	1			<ul style="list-style-type: none"> ・必要な専門的知識等の研修、全体での研修等がなく、保育理念等にバラつきがある。 ・外部研修は、全職員年1回以上は実施している。 ・園内研修も毎年企画し、保育や支援の充実につながるよう努めている。

	チェック項目				無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
		はい	いいえ			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題、客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	9	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・診療等で受けた検査の情報が共有されたらいいと思う。 ・すびかのアセスメントツールがあれば、定期的にチェックして支援に生かせるのでは。 ・入園前は、園独自のアセスメントツールを利用し、状況把握につとめている。子どもの発達段階を把握する上では、多岐にわたるため、標準化されたアセスメントツールで図ることが難しい。そのため、入園後は、日々の様子観察を通して、記録を残し、職員間で意見交換をしながら現状把握をしていくやり方をとっている。
	12	児童発達指導計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14			
	13	児童発達支援計画計画に沿った支援が行われているか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の内容に基づき、日々の変化、成長を記録。共有しながら支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保育については、毎日グループ職員間で内容を検討し計画している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目標や変化に応じて、繰り返し取り組む部分と、ステップアップさせた内容を組み合わせている。 ・子どもたちの好奇心をくすぐる導入の工夫や教材研究に力をいれていきたい。

	チェック項目		はい	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	14		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに活動の流れを記入しておくこともある。(事前に伝達できなかったとき) ・毎月、保育検討の時間を設けているため、前日に簡単な打ち合わせをしたり、書面で分かるよう伝達している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・気づきや子どもの変化については、その都度職員間で話すが、時間が取れない場合も多いので、必要事項は書面で回覧するなどしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、日々の記録はデータとして残すようにしている。詳細な記録を取れるようになり効率化されている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・中期面談時に、保護者の意向を確認。児童発達支援計画の見直しの判断をしている。

	チェック項目	はい			いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
		はい	いいえ				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	14				・サービス担当者会議には、児童発達管理責任者と、グループ職員の2名以上で参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	12	2			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	12	1	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	11	3			・保護者を通じて、主治医の診断書等を依頼しながら、確認のもとで療育を行うことと同時に、体調急変時など緊急時の連絡体制の検討も行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1			・保育園、特別支援学校幼稚部等への移行の際は、個別支援報告書を通して引継ぎを行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14				・就学に向けての引継ぎを特別支援学校、小学校等と行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	9	5			・連携している専門機関が少ないと感じる。就学後に関わる機関とも連携できたら先を見据えた支援ができるのでは？ ・以前は四園交流保育士研修が実施されていた。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	11	1		・コロナによりそういった機会がない。 ・他の幼稚園との交流はないが、親子保育や行事等で兄弟児さんと活動することはある。 ・保護者がどう思うのか気になるところではあるかなと思う。 ・子ども同士の交流の機会もはもてていない。交流する上で相互のねらいの設定に難しさがあると思う。保護者の意向も考えて検討しなければならない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	10	1		・今年度数回しか出席できていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14				・連絡帳や親子保育の機会を通して、子どもたちの今の姿を伝えると同時に、子育て中の困り感を解消できるよう努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	7	6	1		・コロナでなかなか支援が難しい現状。 ・保護者支援についてグループで話すのが難しさを感じている。 ・プログラムとしては行っていない。家庭の状況や子どもの特性は多様なので、ベアトレとして実施するよりも、個々で適切な対応は何か、家庭でできることは何かなど、その都度考え、提案するやり方が良いと考える。

	チェック項目	はい	いいえ		無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14				
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14				
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	14				
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	14				・年に2回の父母の会総会を行い、卒園児の保護者の話を聞く会を開催するなど、会場の準備、連絡等を行いながら、保護者同士の連携を支援している。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れが合った場合に迅速にかつ適切に対応しているか。	14				・相談や申し入れについての連絡体制(グループリーダーからチーフ職員、主任、施設長)を作り、迅速、丁寧に対応できるようにしている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14				・月に1回の月報を作成し、活動内容や行事等の情報を発信している。
	38 個人情報の取り扱いに十分に注意しているか。	14				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14				・子ども、保護者を含め、相手に分かりやすい伝達方法(簡潔に要点を伝える、説明に合わせメモも一緒に渡すなど)で行っている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	8			・ここ数年はコロナもあり、行事等の来賓参加はなしとしている。 ・行事を通して、地域資源を活用したり、来賓として招待することはあるが、コロナ感染拡大の状況が続き、難しくなっている。

	チェック項目				無回答	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
		はい	いいえ			
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14				<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルをファイルにして掲示している。防犯マニュアルは今年度改めて策定する予定。 緊急時対応訓練を毎月行っている。今年度は、緊急対応が必要な子どもの情報共有、地震、津波、火災想定訓練。アレルギー想定訓練。不審者対応、園外保育時の被災想定バス訓練などを行っている。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14				<ul style="list-style-type: none"> 毎月、地震や火災、バス、アレルギー等の緊急時を想定した訓練を実施し、改善点を次回の訓練に活かしている。 海の近くなので、屋上に逃げるだけで本当に大丈夫なのか不安はある。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14				<ul style="list-style-type: none"> 緊急対応が必要な子どもの情報共有を行い、状況を更新しながら確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14				
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	14				<ul style="list-style-type: none"> 毎月のヒヤリハット、事故報告書の作成、危機管理委員会を通しての共有を行っている。 昨年度から、年間の事故状況の振り返りを行い、傾向や対策を職員に伝達している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14				<ul style="list-style-type: none"> 毎年、職員の代表者が研修を受講し、全職員のOJTを実施している。 研修に留まらず、昨今の保育士による虐待事件(傷害事件)を真摯に受け止め、権利擁護の意識を高めるため、定期的に保育の在り方、関わりの検証は必要であると思う。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	3			<ul style="list-style-type: none"> やむを得ずの身体拘束について対象児がいない為か理解できていない部分がある。 身体拘束にあたる行為は行っていない。 身体拘束や部屋に鍵などをかけることがなく、職員間で連携しながら子どもが安全に過ごせる環境を作っている。